



平成15年度北九州市立大学同窓会 兵庫支部総会・懇親会開催日:7月6日(日)昼

♪ ヨーデル食べ放題 ♪ 作詞・作曲者

リポート山中さんが出演予定

同窓生の皆様の多数のご出席をお待ち
しています

兵庫支部月例会3月三金会報告

3月の第三金曜日が祝日の為、規定により前日木曜日開催となり
3月20日午後6時から「フリージア」にて12名の出席を得て開
催された。

出席者(順不同) : 大村実良(33商) 藤田博保(35商) 伊藤互(35商)
高尾巖(36商) 河野旺生(36商) 山本信司(37米英) 平間正昭(37商)
名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 吉本富雄(39米英) 安徳信
義(44商) 三宅隆志(59中)

1. 支部総会開催について

*会場候補の有馬グランドホテルは費用面で見送りとし、グリーン
ヒルホテル明石を候補とし次回(4月)三金会までに結論。

*開催時間は12時頃からとする。

*アトラクションとしてリポート山中を招聘する。

*会費は1万円以下とする。

*案内状発送を5月中・下旬とし、北友会会報6月号に開催公告。

2. 本部行事予定報告の件

9月20日(土) 評議会・支部長会・ひまわり会

9月21日(日) 東京総会 於虎ノ門パストラル

東京都港区虎ノ門4-1-1 TEL03-3432-7261

5月17日(土) 本年度第一回評議会於九州厚生年金会館

3. 同好会報告の件

*三金ゴルフ: 第19回懇親ゴルフはプレジデントC. C. にて
3月30日(日)開催予定。参加予定者18名

*メール会 : これまで5回開催。パソコン常備の教室で開催。
会場費として一人千円申し受けているが参加者が
少ないと赤字である。多数の参加者を求む。
初心者大歓迎。

*歩こう会 : 3月9日(日) 綾部山梅林観梅ハイキング実施
山陽電車網干駅から約6kmの行程。参加者12名
次回4月13日(日) 桜見物(六甲山・洞川)

*囲碁の会 : リーグ戦開催中。

4. 支部会計事務引継ぎの件

大村事務局長から吉本会計幹事に引き継ぎされた。

第19回三金会ゴルフ 実力派楠本氏連覇(4度目)

後藤公一(38商)

兵庫支部の三金会ゴルフコンペは3月30日(日)神戸のプレジ
デントゴルフ倶楽部で17名の参加により、春のひざしのもと開催
されました。皆さんアンジュレーションの多いコースに手こずり、
目標スコアよりかなりオーバーされた方が多かったようですが、
優勝は前回に引き続き楠本正孝氏(40米英)が連覇、2位はゲスト
参加の謝美華氏、3位は葉室新人氏(41米英)と一打差ずつしか違
わない白熱した試合内容で、好天の中、最後まで楽しめるすばらし
いコンペとなりました。半年に一度の三金会ゴルフコンペも次回は
第20回記念コンペとなります。和気藹々と同窓生の形式ばらない
仲間と楽しもうではありませんか。(全員の成績は3ページに掲載)



ゲスト謝美華氏撮影



優勝した楠本氏



2位の謝さん



3位の葉室氏

インドレストラン シャンティ

MEMBER'S CARD for only
The University of Kitakyushu

営業時間 11:00~21:30 (ラストオーダーは21:00)

[Http://www.ethnic.co.jp](http://www.ethnic.co.jp) JR戸屋モンテメール5F



TEL 0797-35-4807

入店の際にこれを見せてい
ただくとより一層のサービ
スをさせていただきます
44年商卒 安徳信義

T.U. TRADE SERVICE, LTD.



中国関係輸出入代行とサプライヤーの紹介
S44年卒 米英 植松 久治 元気で〜す。
TEL 078-367-2386

中東旅行記 - 第3回 -

二宮慶治郎 (38 米英)

リビアへの輸出で特筆しておきたい事がある。中東の学校は欧米と同じ10月から始まる。日本から夥しい雑貨が輸出されていたがその中でも産地が兵庫県豊岡の学童カバンがよく輸出されていた。昔の集金カバン(単純な中央に金属のチャックつき)が流行していた。このカバンの輸出船積期が日本では毎年6月頃の田植えシーズンと重なり、その前から準備しておけばよいのだが、どうしても納期遅れがでる。顧客に納期の延滞を依頼することになる。他国への振向けはむつかしく、原材料の手当てしており、キャンセルとすれば大変なことになる。零細企業が農家に縫製を依頼していたのかもしれない。



リビア滞在中の若き日の筆者

当時中国からも輸入量が多く毛沢東が健在、紅衛兵がさわぎ、それまでのシステムをこわし、中国の輸出会社からの納期延長依頼の通信文をみると「偉大なる毛沢東のため貴方は信用状の納期期限を延長しなければならない。」と命令調でひどいもので、輸入業者は「これはビジネスではない」とぐちをこぼしていた。

トリポリでは問屋街のど真ん中に会社の代理店があり、泥くさい商法で大きな商取引をしていた。穀物を取り扱う業者がトランジスタラジオ、電池を輸入するとは輸出業者には考えられぬことであった。食料品と共に当時の唯一の情報を得るメディア機器をトラック、らくだ等で内陸へ運んでいたのである。

読者はよくご存知の回教徒の断食月(ラマダン)を何回も体験した。異国人でも回教徒と同様にホテル以外では日の出から日没まで1ヶ月水も食べ物も口にすることはならなかった。現地の人は体が大きくよく食べるのでイライラしながら夕刻の日没を知らせる大砲の音でみな町から帰宅する。一年に一度腹の胃袋の調整をする習慣を教えたマホメットはよく考えたものだ。

メッカのあるサウジアラビアでは宗教警察とゆうのがありお祈りの時刻に商店ではみな店を閉め、近くの礼拝所に行く。店を開け商談などしていると憲兵みたいな服装をした者が注意して見廻っていた。他の回教徒のいる国では商談中お祈りの時刻だといいい中断する極端に言えば戦争中でも長期戦で対峙しているときでもお祈りするとどこかの本に書かれていた。

回教徒は一夫多妻がゆるさされている。が、これはなかなか難しいと思う。つまり多妻に均等の愛を与えなければならない。えこひいきをしてはならない。長く世話になったリビアの代理店の親父は邸宅を左右対称のシンメトリーに建て、一度門を出て右か左に行ったり来たりしていたが、ついに仕切りの塀に通用口をつけていた。ラマダン明けの新年のしきたりの行事では3日間ごちそうをつくり新年を祝う。その行事に登場する羊一匹の丸焼きを左右の庭で焼いていたのを思い出す。

(to be continued)

淡路島から一教師の履歴

河野旺生 (36 商)

昭和36年4月15日兵庫県教育委員会辞令により県立淡路農業高校仮屋分校に赴任。以来36年の教員生活を終えたのが6年前、今回同窓会兵庫支部NEWSへの原稿を書くに当たり教育論を展開との要望。しかし年数と経験は多いが文章力に不足する小生には荷が重すぎる。これを承知で教育についての考えを述べてみたい。最初の赴任校での生徒との出会いは淡路島で海辺の運動場とそれに面した木造の校舎、1学年(新入生)1クラスが19名(男子5名と女子14名)、2年生32名・3年生37名と記憶する。昼間定時制のため4年生まで在籍していましたが、昼間のため全日制高校と同じ時間割でカリキュラムが組まれていて4年生は卒業単位が終了していたので登校が自由であり職に就いていました。

このような非常にのんびりした職場環境での新任教師としての出発でした。担当教科は簿記・経済・一般商業。1年の19名を教えるのは非常に楽でした。(昭和50年代60年代のクラス50名の時代に比べると)。

今、私学では40人から50人、公立では35人から40人の学級編成、将来は30人学級になると思います。が、もうすでに20人から30人学級が実現していました。このような恵まれた環境での教員生活出発は、この先36年の教師歴にどのような経験と試練が待ち受けていたであろうか。次回に思い出しながら披露したいと思います。

ホーリー(色水をかける祭り)

-インドより第3回-

高森千賀子(44米英)

今年のホーリーは3月18日~20日だ。日にちはヒンドゥ暦で決まるので年によって異なる。ディワリ、ダシェーラという祭りと共に、インド三大祭りの一つで、色粉や色水をかけあつて春の到来を祝う。特に子供たちにとっては待望の祭りで絶好の遊びにもなっている。

道端にはその色粉や水鉄砲などを売る店ができ、人々が群がっている。粉のままや粉を水に溶かして、水鉄砲やプラスチックのボトルに入れて使うが、これは何度か洗えば落ちるのでいい。しかし、粉を油と混ぜて顔や体に塗られると、当分洗っても色が落ちない。服はもとより下着まで染まってしまうので、当日は汚れてもいい服を着ておくこと。そして色水をかけられたくない人は外出しないことだ。いつ、どこでかけられるかわからないから。また、家の中に入れて入ってきてかけるので鍵をかけておくことも必要だ。

2~3年前、ホーリー後に帰国して美容院に行った時のこと。美容師さんが、「いくらシャンプーしても緑の色が出るのですが髪を染めているのですか」と言う。最初はどうしてもわからなかった。粉といっても小麦粉のようなものと、ガラスの破片のような細かい塊のようなものもあり、後者の粉が髪の中にいつまでも残っていたのだ。

ガンジス河で有名なベナレスでは、色水だけではなく、牛のフンまで投げるので怖い。カジュラーホーを経由してベナレスへ行く旅行者は、この日を避けて注意している。

道路にいる牛や山羊、豚、犬までもが色水をかえられ、カラフルに染まっている。白髪の男性の老人がピンクヘアーになったりしておかしい。

ホーリーは老若男女が童心に返る祭りの一つでもある。インド旅行中、このホーリーに居合わせた方は、インド人と一緒に是非楽しんでみてください。「ハッピー、ホーリー!」と言いながら。

切手に思いを馳せて

徳光美智子(31米英)

Eメールが出来ない私が参加させていただいたメール会の写真が送られてきました。なんとその封筒にはきれいな切手が2枚も貼ってあるのです。

その一枚は「兼六園の海石塔」で、石川県の「ふるさと切手」として1999.4.26発行の兼六園の四季を描いた「海石塔」「噴水」「こじ灯籠と雪吊り」「金城壺沢」の四枚綴りの一枚です。それは碧い空に、奥深く蒼い木々、みどりの庭木、櫻の花に彩られ、曲水の流れるお庭の優雅な橋のたもとに、池にその影を華麗に揺らめかせて佇む一本の満開の櫻と海石塔が描かれた切手です。

私の育った富山の高岡にも、前田公のお庭、「古城公園」があり、長い櫻馬場を通り抜け、お堀の赤い太鼓橋を渡ると、そこは桃源郷のように、赤い雪洞が、櫻花爛漫な花の色を、一層、華やかなものにするのです。

長くて暗い雪国にも春が来て、櫻の花が咲きますと、高岡の町

第19回三金会ゴルフコンペ成績表

平成15年3月30日(日) 於プレジデントゴルフ倶楽部

順位	参加者名	卒年	グロス	ハンディ	ネット
優勝	楠本正孝	S40	93	8	85
2位	謝美華	ゲスト	107	25	82
3位	葉室新人	S41	92	6	86
4位	山本信司	S37	104	16	88
5位	森下綏夫	S37	111	21	90
6位	長瀬正春	S44	109	18	91
7位	久芳健二	S44	112	20	92
8位	馬場清	S31	119	27	92
9位	後藤公一	S38	112	18	94
10位	藤原琢志	S43	130	36	94
11位	河野旺牛	S36	110	14	96
12位	鷹野哲雄	S33	123	25	98
13位	永翁正臣	S41	119	18	101
14位	安徳信義	S44	119	17	102
15位	平間正昭	S37	127	24	103
BB	吉本富雄	S39	140	36	104
BM	松川仁	S44	139	25	114

謝美華氏は初参加の為規定により1位のスコアであるが2位となる

第20回記念三金会ゴルフコンペ開催日

平成15年9月25日(木)を予定

詳細は決定しだいお知らせいたします。

兵庫支部の歩み(1)

本稿は、平成13年5月刊行の「北九州大学同窓会50年史」(定価5000円)に掲載された兵庫支部紹介記事を転載しています。

「兵庫支部を作ります」と村山昌生(34米英)が宣言したのは、昭和61年6月28日(土)に開催された関西支部総会の席上であった。同窓会への出席者のうち兵庫県居住の同窓生が数十人、当時兵庫県に在住する同窓生は500人近くおり、支部設立の条件は十分に整っていた。

村山は門司在住時代は本部の組織担当役員として各地の支部の事情にも詳しく、支部設立の手順は熟知している。さらに最初の支部を関西に設立し、支部長として多大の貢献をした大先輩の故岡村和倫(24米英)が強力な支援者となり、その上岡氏経営の七友商事には浜本昭治(24米英)、山本省司(25米英)、川村進(44米英)、小野成彦(50経営)、牛丸敬孝(51中国)、田中かほる(48中国)平良(井上)登美子(48中国)、村上(相川)三喜子(52中国)と多数の同窓生がおり、関西支部総会に出席していたその他の面々が、それぞれ神戸近在に居住の同窓生に呼びかけ兵庫支部設立に向け準備を開始した。

数回の準備打ち合わせを経て、第一回の設立総会が開催されたのは昭和61年10月1日である。神戸市東明閣で本部から皆川委員長と重枝組織局長、関西支部からは加藤幹事長の出席をいただいて総勢25人で開催された。

初代支部長に村山昌生(34米英)が選出され、副支部長に名越英昭(37米英)、後藤公一(38商)、会計に浅野康平(37中国)、牛丸敬孝(51中国)幹事として川村進(44米英)、松山仁(44商)、森護(47米英)、会計監査に平間正昭(37商)、藤澤一範(38中国)、水翁正臣(41商)の役員が選任された。

(次号につづく)

原稿募集

随筆・旅行記・短歌・俳句・詩あるいは写真、本紙に対するご意見などあらゆる分野のご投稿をお待ちしています。

広告掲載申込大歓迎 1/8頁 掲載料 500円/一回

が空になるくらい、人々は着飾って、お花見弁当を持って、古城公園に行きます。私も袂の長い加賀友禅の着物を着せて貰ってお花見に行ったことが昨日のように思い出されます。

お堀の中にはきれいな鯉がいましたが、私の家の中庭の黒い玉石を敷きつめた池にも何匹かいて、石燈籠がその岩の上にあり、飛び石を伝って行くと、大きな青石、そのそばにも背の高い石灯籠があり、赤い鳥居をくぐるとお稲荷さんがあり、鈴をジャラジャラ鳴らして拝むのが好きでした。

その鯉も父の病気が重くなる度に、一匹づつ近くの千保川に流してやり、鯉は、川に放つとどの鯉も、必ず一度は足もとに戻って来て、あとはそのまま川に消えてゆくのです。

町中の人々が競って大きな七夕飾りの笹竹を、私の家でも赤い提燈や、紙飾りを一杯つけて、競って流したあの千保川に！ 鯉がいなくなって年々経ったのでしょうか。

最近のこと、家の庭にあったお稲荷さんを探しに伏見の四つの峯に登って見た。その一つの峯の一番高い処に、その名が刻まれた石を見つけ、それ以来、初年には、小さな赤い鳥居とローソク、お酒油揚げを持って、お山する。京都を照らす夕日とその石に刻まれた字を一瞬明るく照らすときにかしら嬉しそうに見える。

封筒のもう一枚の切手は、切手趣味週間1983.4.20発行の喜多川歌麿の「台所美人」です。これも2枚綴りのもので、絵の真中に手桶と籠があり、4人の美女が子守をしたり、野菜の皮むき、火吹笛を吹いたり、白い艶かしい腕を伸ばして杓で湯を汲む美女等が描かれていて歌麿らしい画風の切手です。

切手趣味週間のだ一回は菱川師宣の「見返り美人」1948.11.29 第二回は、安藤広重の「月に雁」1949.11.1で、どちらもとても人気の値のする切手で私の切手帖にも収集されています。私はS36年頃九州の古賀にある病院に入院していましたので、見舞いの手紙に貼られた記念切手になぐさめられ、いつしか切手収集に熱中、レース編に熱中したり、それは忙しい？2年間の入院生活でした。

日本の切手の高価なもの、昭和天皇ご婚儀、大正12年11月発行予定のところ、同年9月に関東大震災で殆んど焼失して、発行中止となり、現存のものは、南洋諸島で発行するためにすでに発送されてしまっていたものを回収したもので、四種類のうち8銭の赤色(東宮御所)の切手が高価です。

高値といえ、久し振りにシートブックを開いて見ると中に古く茶色に変色した新聞の切抜きがあり、それには、東京での「世界の話題切手展」に出品された額面50銭の「3人の漁師がカツオを釣っている姿」を図案化した切手で、昭和23年5月18日通産省資材局が大阪の大日紙業に発注したが、印刷が始まったやさき郵務局や占領軍の許可を受けなかったとの理由で、製造中止の命が出され刷り上がった切手は処分されたとの事で、その切手の完全シートは大阪のマニヤが一枚持っているだけで、今回のものは、元東京逓信局長がタンスにしまっていたものが亡くなってから出て来た切手で、どこまで高値がつくかわからない位の切手との事でした。

日本の普通切手で手彫り切手(liland Engraved Stamps)の明治4年3月1日の48文切手から45番までの切手には一面一面手彫りの銅版刷りで、各版に興味ある差異があり、中でも33番「櫻洋紙カキ無し」1874の30銭の切手は4年前でも600万円もしています。小倉にいた頃、西鉄大門に小さな映画館があり、「美女と野獣」「第三の男」「ガス燈」など名画ばかり3本立て30円だったが、そこで「シャレード」を見た。激しいギャングの追求で荒らされた部屋の机の上に残されていたヒロイン宛の封筒、それには全財産を一枚の切手に換えられた、愛を込めた切手が貼られていて、「シャレード」の素敵な歌とメロディーが今も思い出される。

* * * * *

九州から神戸に来て外人商社にも勤務していましたので、めずらしい外国の使用済切手も沢山未整理のまま、仕事や、育児、家事に追われ防湿セロハンの袋も封さえ開けずに放置されたままです。

私にはあと少しの"a few presious day"を忙がなければならないのです。

歩こう会3月例会

綾部山梅林観梅ハイキング

名越英昭(37米英)

花冷えともいえるような薄ら寒い朝9時山陽電車網干駅に集合した。総勢12名。当日3月9日(日)は山陽電車主催の同様のハイキングが実施され、同駅は大変な数のハイカーの人たちで混雑していた。いつもながら下見の労をとっていただいた福田氏の先導で、他のハイカーに紛れながら歩き始めた。目指す綾部山梅林までは約5km程度だが、途中かって丸亀藩の飛び地であったため設置された陣屋跡に造られた興濱歴史資料館を訪ね、大覚寺まで足を伸ばしてから、綾部山に向かって住宅街を西進する。



興濱歴史資料館

大覚寺

風が強く帽子が吹き飛ばされそうになるが絶好のハイキング日和。龍門寺や富島神社の前を通り過ぎて、播磨の国守護職置塩城主赤松義村が選んだ名水播磨十水の一つという「篠ノ井の清水」の前で記念写真を撮る。(3月号に掲載しています。)

綾部山梅林の手前の菜の花畑はまさに満開で、その見事さに魅かれて、畑の中を横切って梅林入り口まで向かう。



満開の菜の花畑の中で

梅園への入園料は甘酒フリーサービス付で500円。各自チケットを買い求め入園する。ここで松山氏ご学友が地酒の銘酒1本持参して我々一行と合流。満開の梅の花にせかされるようにさっさと出掛けてしまった人もあり、携帯電話で所在を確かめ綾部山の丘陵を、まずはフリーサービスの甘酒コーナーを目がけて登り始める。

園内は山陽ハイキングなどもあり、大勢の人たちで込み合っていた。それぞれに持参のカメラでパチリパチリと写真撮影しながら中腹にある甘酒コーナーに到着。早速甘酒をいただいた後、待望の昼食をとることになり、梅林の中に入り込み弁当を広げる。

福田氏心尽くしの缶ビールに舌鼓をうち、ご学友さん持参の銘酒とイカナゴの釜揚げを馳走になり、大満足の昼食を済ませて、梅花鑑賞に出掛ける。各自自由行動とし、14時入園口に集合することとして、三三五五散策開始。

折しも神戸新聞社主催でお城の女王3人がモデルとなって撮影会が行われていた。ここで歩こう会初参加の銭谷氏の出番となる。自慢のカメラを携えて群がるアマチュアカメラマンを掻き分けて最前列まで進出して3人のモデルをカメラに収める。傑作写真はできたのでしょうか?

同じく初参加の徳光さんから次のような印象記が届けられている。「綾部山古墳群の梅林は、淡い桃色の淋洲が白い花の玉英で小高い山を埋めつくし、その小路は黄色い菜の花と紅いつばきに彩られ、おとぎの国へいざなうように春霞の山陽の海と空へととけこんでいるのです。」



モデル撮影会風景

予定通り14時出口にて全員集合。

ひとめ2万本と言われる綾部山梅林を後にして帰路につく。福田・二宮両氏は朝日新聞後援の俳句大会に応募された模様。入選なるか! 藤田・福田・銭谷の三氏は帰路もウォーク、その他はバスで山陽網干駅へ。お疲れ様でした。

二人ギヤル
これが本当に梅林ギヤル
思案亭

次回は4月13日(日)

六甲山洞川にて桜見物

午前9時JR元町駅西出口山側に集合

編集後記: 突然福田先輩から本紙作成を依頼され、パソコン操作に自身がないまま、四苦八苦しながら作成してみました。WORD操作不得手でEXCELで作成しましたので、従来と違う出来映えですがご容赦願います皆様のご投稿がいかに貴重か痛感。これからもどしどしご投稿を!

損害保険・生命保険・総合保険 代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

〒652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

アメリカ文学逍遙

作家と風土、その作品梗概 & WRITERS' PERMANENT ADDRESS



福田 要著
昭和31年米英学科卒

近日発刊